

科目	学年・小学科	単位数
家庭総合	3年・商業科・会計ビジネス科・情報システム科	2
教科書	東京書籍「家庭総合 自立・共生・創造」	
副教材	東京書籍「スーパーライブビュー 資料集」	

1. 学習目標

<ol style="list-style-type: none"> 1. 人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得する。 2. 学習した知識や技術を生かし、家庭や地域の生活課題を主体的に解決する態度を育てる。 3. 家族や社会との共生を目指し、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

2. 学習方法

<p>○授業：身近な生活を様々な角度から考察する場面を設けるとともに、グループ学習などを通して他者との関わりや個々の価値観についても学んでいく。また、実習や体験的学習を多く取り入れ基礎的な知識や技術の習得を目指す。</p> <p>○予習：特に予習は課さないが、日頃からニュース等に目を向け、身の回りの出来事に興味・関心を持つよう心がけることが望ましい。</p> <p>○復習：学習した知識や技術を家庭生活に生かすようにする。</p> <p>○課題：学習内容を深めるため、冬季休業中にホームプロジェクトを課す。</p>
--

3. 評価の観点と趣旨

① 関心・意欲・態度	人の一生、家族・家庭、子どもや高齢者の生活、それらと社会との関わり、衣食住について関心を持ち、その充実・向上をめざして意欲的にとりくむとともに、実践的な態度を身につける。
② 思考・判断・表現	自分や家族・家庭、地域の生活にかかわる課題を見つけ、課題解決のため思考を深めて、工夫・創造し、自分の考えをまとめ判断できる。また、課題解決の学習から導き出した考えを的確に表現することができる。
③ 技能	自分・家庭や地域社会の生活に関する課題を解決するため、必要な基礎的・基本的な技術を身につけることができる。
④ 知識・理解	自分・家庭や地域社会が生活を営む上で必要な必要な知識を身につけている。
⑤	

科目	学年・小学科	単位数
家庭総合	3年・商業科・会計ビジネス科・情報システム科	2

学期	単元	学習内容	重点をおく評価の観点					単元の評価規準	評価方法
			①	②	③	④	⑤		
前期中間	第2章 子どもと共に育つ	1. 命を育む 2. 子どもの育つ力を知る 3. 親として共に育つ 4. これからの保育環境	○	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・母体の健康と子どもの誕生、子どもの心身の発達について関心を持ち、家族の果たす役割を考えようとしている。 ・子どもを取り巻く環境の変化と子どもをうみ育てることの意義、社会・地域・親の果たす役割について考え、課題を見出したり、まとめたり、発表したりしている。 ・子どもの生活や子どもを取り巻く環境、子育てにおける課題などについて、情報収集そたり、調査することができる。 ・生命の尊さ、子育ての意義の重要性、子どもの心身の発達や生活と環境の関わりについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の取組み ・ワークシート ・グループワークの取組み ・提出課題 ・定期考査 ・実習作品
		第3章 高齢社会を生きて	1. 調理の基礎 2. 食生活の文化と知恵 3. これからの食生活 1. 高齢期を理解する 2. 高齢者の心身の特徴	○	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習に積極的に取り組もうとしている。 ・食文化の在り方や継承について考えている。 ・主体的に食生活を営むために必要な情報を収集・整理し、検討することができる。 ・現代の食生活の課題、食文化、食品の安全性と環境について課題を認識し、その知識を身に付けている。 ・高齢者の心身の特徴や生活などについて関心を持ち、高齢者を肯定的に捕らえ、高齢期の生活について考えようとしている。
後期中間	第3章 共に生き、共に支える	3. 高齢者を支える 4. これからの高齢社会 1. 私たちの生活と福祉 2. 社会保障の考え方	○	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や高齢者を取り巻く社会について、具体的に課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、まとめたり、発表したりしている。 ・体験的学習を通して、高齢者と適切に関わることができる。 ・高齢社会の現状と課題、高齢者の心身の特徴や生活について理解している。 ・共生社会に関心を持つとともに、その実現に向けて、自分のできることは何か、情報を収集・整理したり実践に生かすなど、支え合う活動に必要な技術を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の取組み ・ワークシート ・グループワークの取組み ・提出課題 ・定期考査
		第4章 共に生き、共に支える	3. 共に生きる 誰もが暮らしやすい社会を目指して～ユニバーサルデザイン～地域の防災力を高めよう 1. 職業生活を設計する 2. 現代の消費社会とこれからの消費生活と環境	○	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災力について関心を持ち、地域のできる防災の方法を探究し、工夫している。 ・地域の防災力を高める意義や方法を身に付けている。 ・自立した消費者として、多様な情報の中から、適切な情報を取捨選択し、目的に応じて活用する技術を身に付けている。 ・家庭生活と資源・環境との関わりについて、自立した消費者になるための知識を身に付けている。